

公益社団法人私立大学情報教育協会  
2020年度第3回情報教育研究委員会合同会議議事記録  
情報教育研究委員会、情報リテラシー・情報倫理分科会、分野別情報教育分科会

I. 日 時：令和2年6月26日（金） 17：00～19：00

II. 場 所：Zoom ネット会議室

III. 参加者：斎藤委員長、笈委員、大原アドバイザー、玉田主査、児島主査、和田委員、金子委員、中西委員、石川委員、大久保委員、渡辺アドバイザー、小野アドバイザー、光井アドバイザー  
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

委員会での研究内容を報告する教育イノベーション大会は、今回オンライン開催とするため、ビデオコンテンツが重要となる。コンテンツは、社会で求められている課題からのガイドラインの背景、問題発見・解決思考のシナリオ・教材づくり、AI理解教育の授業シナリオ・教材づくり、専門科目のビデオ授業ガイドの説明を考えている。

1. 社会で求められる情報活用能力育成ガイドラインの背景・概要、教育の目的について、委員からビデオ化のスライドが提示され検討を進めた。
  - ・ 価値創造すること、分野関連付けすることの教育が不足していることから、教育のオープンイノベーションの必要性を強調してはどうか。
  - ・ ICT 輸入超過の現状について、2015年の通商白書ではデータが古いので掲載は控えたい。
  - ・ 到達目標ABC（領域）の説明は分けないで連携する形で表現してはどうか。
  - ・ 目指すところは、本質を見極め、価値創造につなげる教育が求められるのではないか。
2. 初年次向け、AI理解教育の反転授業シナリオ作りについて、委員会からスライド資料が提示され検討を進めた。
  - ・ 要素の修得、積み上げ方式ではなく、ニーズからのブレークダウン方式であり、AI そのものの設計・開発は専門領域の位置づけでここでは対象外であることを方法付けて、シラバスの説明に進む。
  - ・ シラバスは、「AIの実例を使ってみよ」、「AIを使えるように」、「実際にAIを応用するシステムを作ってみよう」、「AIとビジネス」で組み立てられ、分野横断型PBL教育の中で問題意識を共有し、持続的にPDCAを回しながら問題解決の道につなげる取組みとして紹介された。
  - ・ 分野横断型PBL授業モデルの絵は、ビデオの中で説明するのではなく、追加説明や討議の中で紹介をしてはどうか。
3. 専門科目と連携した情報活用教育のビデオ運営ガイドについて、委員からビデオやビデオ作成用のシナリオが提示され検討を進めた。
  - (1) 文系（経済学分野）
    - ・ ビデオは、問題発見・解決型授業を、ガイドラインの到達点、ICTを活用した教育改善モデル（経済学分野）の到達目標に照らし合わせ、専門科目でどのような情報活用をさせるのかを解説した。
    - ・ 取組みとして、知を組み合わせるため、相互評価を加えてはどうかとの意見があった。
  - (2) 理工系（機械工学分野）
    - ・ ビデオ化のシナリオは、正確な情報収集、統計的な分析、シミュレーションスキルなど理工系分野で求められる能力の説明から、SDGsのテーマ、どのような学修活動に落とし込めるのかを解説する流れで、このままビデオ化を進めることにした。

(3) 医療系（医学分野）

- ・ ビデオは、専門科目での情報活用能力の必要性、モデルコア・カリキュラム到達目標の例、医学系専門科目での現状などを説明した上で、授業シナリオについて授業設計のポイントを解説し、AI を学習に導入する課題や例示も加えた。
- ・ 細かな指摘はなく、このままビデオの完成度を向上させることにした。なお、各分野のビデオ統一タイトルとしてこのビデオの一枚目を参考にすることにした。

(4) 家政系（被服学分野）

- ・ ビデオ化のシナリオは、家政学が実践的総合科学であることから、「正確な情報収集」、「正確な観察力・発想力」、「的確な問題解決能力」、「実行力の育成」が求められ、各専門分野のスキルを身に付けることが肝要であることを説明した上で、身近な問題をテーマに議論の活発化を図るシナリオ作りの解説とした。
- ・ ビデオ化には、具体的な専門科目としての情報活用学修の内容をまとめとして解説を追加することで進めることにした。

4. 教育イノベーション大会での報告は、下記の項目で紹介することを確認した。

- ・ 9月3日「オンライン・テーマ意見交流」分科会F（14：00～17：00）
- ・ ① 初年次向け反転授業のビデオ授業ガイドと教材例示
  - \* ガイドラインの背景・概要、教育改善の目的（ビデオ10分、補足説明10分）
  - \* 問題発見・解決思考の授業シナリオ、教材作り（ビデオ10分、補足説明10分）
  - \* AI理解教育の授業シナリオ作り、教材作り（ビデオ10分、補足説明10分）
- ② 専門科目と連携した情報活用教育のビデオ授業ガイド（経済学系、機械工学系、家政系、医療系）（各、ビデオ7分、補足説明7分）
- ③ 関係教員による意見交流の仕組みと活用法

V. 今後のスケジュール

次回は、7月17日（金）17時から合同会議を開催し、継続して解説ビデオの確認を進める予定にしている。